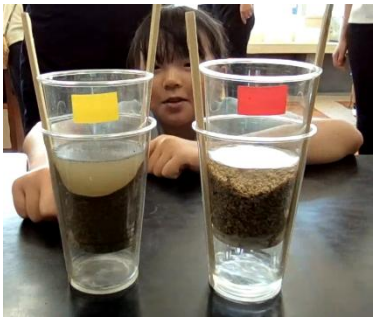
学校教育目標「一人ひとりが生き生きと輝き、知・徳・体の調和のとれた自立した子の育成」

# 大積小だより

愛・アイデア・アクション!

令和７年９月２２日
第２５号
北九州市立大積小学校
校長　古　澤　律　子
電話　341-8296

## 大積小学校運動場の秘密



大積小学校の運動場は、ハイパー運動場であることをご存じですか。朝、かなり雨が降っていたとしても１時間も止めば運動場が乾くことで休み時間は元気に遊ぶことができる運動場なのです。私も多くの学校で務めてきましたが、こんなに水はけがよい運動場に出合ったのは、初めてです。５月に６年生が企画した「雨で運動場が使えない日に体育館が使える『雨の日ハッピープロジェクト』」は５月からたったの２回しか実施されていないほどです。

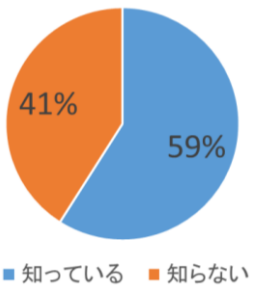
先日、４年生が理科の学習で、この運動場の土を調べました。二つの土を比較しながら、どちらが運動場の土なのか予想します。運動場の土であると多くの子どもたちが予想した土は、どうやら粒が大きいようです。土の粒の大きさに着目した子どもたちは、実験で水のしみこみ方の違いを調べていました。実験では、明らかに水のしみこみ方が違いました。子どもたちは、土の粒の大きさと水のしみこみ方を関係付けて結論付けていました。中には、「粒が大きいと粒同士のすきまが大きいから水の通り道ができやすくなってしみこむ」「運動場の土は、粒が大きいから水がしみこみやすく、その結果すぐに乾いて使える」などと考察できている子もいました。

日常生活と理科の学習内容のつながりを子どもに意識化させ、理科の有用性を実感させることは、理科の重要なテーマです。この単元を「大積小の運動場」と結びつけて教材化した先生の研究の深さに感心するとともに、この学習後の子どもたちは、本校の運動場を違った見方で見ることができるようになると感じました。

（余談ですが、今回土の粒の大きさの違いを比較するために使用した「砂場の砂」が、理科の教科書では逆に粒が大きくしみこみやすい方として扱われ、それだけ大積小学校の運動場は優れているのだとびっくりしました。）

## 「学校のいじめの取組に関するアンケート」結果

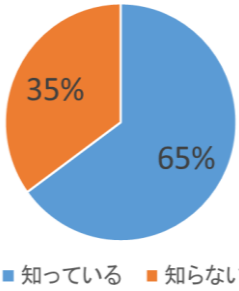
アンケート結果をお知らせします。ご協力いただき、ありがとうございました。




**１　いじめ防止対策推進法をご存じですか。**

※　いじめ防止対策推進法には、児童生徒へのいじめの禁止（法第4条）、保護者の責務（法第9条）等が記載されています。

※　以下のURLよりいじめ防止対策推進法が確認できます。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1337278.htm




**２　学校いじめ防止基本方針をご存じですか。**

※　学校いじめ防止基本方針は、毎年度学校が作成し、学校ホームページ等で公開しています。

※　学校は、いじめ防止対策推進法のいじめの定義に則って、積極的ないじめの認知を目指しています。　いじめの認知について、ご理解・ご協力をお願いします。

# 進め 大積たんけん隊！（3年生～6年生　総合的な学習の時間）

**【大積の歴史グループ】**
天疫神社の神主さんが来校して、歴史などを語ってくださいました。

**【大積のじまんグループ】**
大積校区の店や保育園などを調査して、本にまとめる予定です。

**【大積の文化グループ】**
大積神楽保存会の会長さんたちが来校して、舞の歴史などを設営してくださいました。持ってこられたお面に興味津々の子どもたち

「進め大積たんけん隊！」は、3 年生～6 年生の異学年混合のグループで学習しています。月に 2 回程度、集まって 12 月まで探究学習を行います。

**【大積のまちづくりグループ】**
黒川駐在所や東郷市民センターの方にインタビューなどを通して、大積のまちづくりについて、願いや工夫を探ります。
この日は、巡査長さんからいろいろなことを教えていただきました。白バイやパトカーに試乗させていただきました。

**【大積の自然グループ】**
植物や川の生き物などを調査します。この日は、みんなで奥畑川を散策しました。大きな魚やエビ、カニなどを発見！

**【大積小の PR グループ】**
大積小の何を PR するのか、グループで話し合っていました。歓声が楽しみです。

# 5･6年生　性の健康と権利に関する学習

9月17日、5･6年生が「性の健康と権利に関する学習」を行いました。福岡県性暴力対策アドバイザーの方に来校いただき、学びました。体の境界線、気持ちや考え方の境界線、持ち物の境界線などについて学習しました。境界線は、自分を守る、相手を守る透明バリアです。講師の先生からは、「あなたのからだは、あなたのもの」「あなたのこころは、あなたのもの」というお話がありました。境界線がピンチな時は、いやだと相手に伝える、その場を離れる、味方になってくれる大人に話してみるなど、具体的に説明していただきました。特に、信頼できる人に話すということは、子どもの時だけでなく、大人になっても役に立つことの一つだと説明がありました。